

さあ、しっかいや
まだまだ現役やわいねー!

主な内容

- 野々市市の実現へ向けて …… 2
- 子ども生き生きプラン実施状況… 5
- さわやかスポーツフェスティバル… 6

老人会連合会大運動会
(6月12日、町民体育館)

野々市町は

野々市市

の実現を目指します！

住民意識調査の概要

4月1日から20日にかけて実施した市制施行へ向けた住民意識調査では、皆さんから数多くの貴重な意見をいただき、ありがとうございます。

町は、今年の10月1日を基準日として行われる平成22年国勢調査で人口5万人を達成し、平成23年11月以降の市制施行を目指して準備を進めています。

町民の皆さんには、平成22年国勢調査の趣旨を理解いただき、調査への回答をいただきますようお願いいたします。

●調査の内容

市制施行の実現をめざすにあたり、市への昇格や新市名称などについて、意見をお伺いしました。

●調査方法

対象者…町内全世帯
方法…町内会へ広報4月号と同時配布し、町内会から各世帯へ配布

●回収方法…郵送

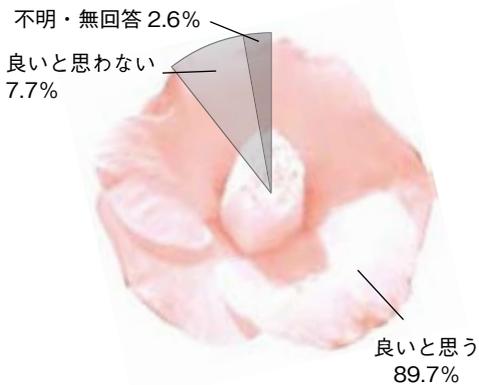
●調査票の配布・回収数

配布数 20,423
回収数 5,760
有効回答数 5,759
有効回答率 28.2%

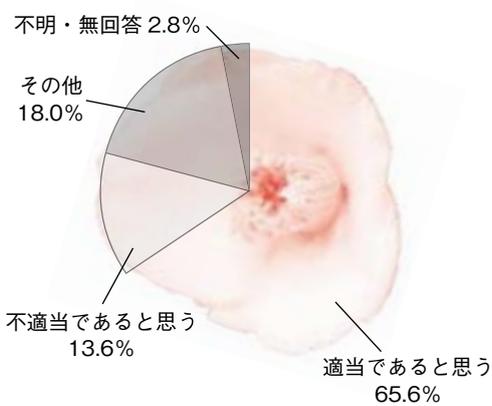
●市への昇格についての意見

市への昇格については、「良いと思う」と答えた人が約9割で、大多数の人が市制施行に賛成との回答を

(表1) 市への昇格について



(表2) 新市名を野々市市とする案に対する意見



いただきました(表1)。

●新市名称を野々市市とする案に対する意見

新市名称を野々市市とする案に対する意見では、「適切であると思う」と答えた人が65.6%と、過半数を超える人から野々市市とする案が適切であるとの回答をいただきました(表2)。

また、その他意見として、次のほか、いくつかの新市の名称候補について提案をいただきました。
ののいち市、石川市、野々市、椿市、つばき市、野々いち市など
詳しい調査結果報告書は、町ホームページや総務部市制準備室、町立図書館で閲覧できます。

市制について考えてみよう1

新市の名称

野々市町が新しく市となった時の名称については、新市名称検討委員会からの答申や意識調査の結果、また、市制に向けた住民説明会、町政ふれあいミーティングを通じて、住民の皆さんから直接お伺いした意見を重く受けとめ、議会6月定例会で、票貴章町長は、新市の名称を「野々市市」とすると表明しました。

このことを受けて、野々市町は、10月に行われる国勢調査により人口5万人を達成し、市制施行の実現を目指します。

なお、これまで町から市となった自治体の事例を見ても、市町村合併を行った市町村では新たに市の名称を定める場合が多いようですが、単独で市となった町については、これまでの町名をそのまま継承している場合がほとんどのようです。



新市名称検討委員会からの

答申

5月11日(火)、「新市名称検討委員会」からあった新市名称についての答申内容を紹介します。

野々市町には、今から約3,500年前の縄文時代後期から晩期に営まれた大規模な集落遺跡である御経塚遺跡(国指定史跡)や白鳳時代末の7世紀後半に建立され、巨大な礎石を今に残す末松廃寺跡(国指定史跡)があります。

これらのことは、古くから本町の町域が霊峰白山からの水源や地形などを背景とした自然環境に恵まれた地域であったことを示すとともに、人々が生活しやすかったことを物語っています。

平安時代後期から南北朝時代初頭には、加賀国守護所が設けられ、富樫氏による統治が加賀一向一揆の支配となる15世紀末まで続き、加賀の政治と経済、文化の中心として栄えた地であったと言えます。

また、鎌倉時代後期頃には「市(いち)」が形成されていたという史料も残されています。

それは、1312年に記されたとされる白山本宮(白山比咩神社)に伝わる古文書に水引神人(みずひきじん)と呼ばれる人たちが「野市(のいち)」に住んでいたという記述から証明されています。

これが「野々市」という地名の最古の文字史料であると思われます。1486年、当時の山伏集団の中心的存在であったとされる京都「聖

護院」の「道興」という人物が野々市に立ち寄った際に、次の句を詠んでいます。

「風おくる 一村雨に 虹きえての、市人は たちもをやます」

虹がかかっていた空に、風が吹き、にわかにも雨が降ってきたにもかかわらず、野々市の人たちは、忙しそうに仕事(立ち回り)を続け、止めようとしな

人々が集い「市(いち)」で活発な商業活動を行っていた当時の野々市の賑わいを知ることができ、「野々市」という地名が、古くからこの地にあった由緒ある地名であることがわかります。

これらのことから、

①本町は、いくつかの市町村の合併により市制を施行するのではなく、単独で市制を施行することから、これまでの地名を継承することが適当である。

②「野々市」という地名は、中世以来この地の名称として認知されてきた歴史ある地名であり、その歴史を証明する大変貴重な文化であ

り、財産である。

③由緒ある地名を後世へ残していくことは、この地に住む者としての責務である。

との結論に達し、本委員会は、新市の名称を「野々市」とすることが適当であると答申します。

野々市町は

野々市市

の実現を目指します！

(布市神社 境内の石碑)

住民説明会

粟町長が町内4カ所を訪問し、市への昇格を目指す意義や市制施行に向けた町の取り組みなどの説明を行いました。説明会の概要は次のとおりです。

開催日程・場所・参加人数

5月16日(日)	交遊舎	35人	5月19日(水)	郷公民館	67人
5月27日(木)	押野公民館	28人	5月29日(土)	中央公民館	56人

町が市となるためには、地方自治法や石川県条例などによっていくつかの要件が定められていますが、野々市町は人口要件だけが満たされています。今年10月の国勢調査の結果、人口五万人を突破することができれば、「市」となるためのすべての要件を満たすものと考えています。

市への昇格を目指す理由は、平成13年に策定した「総合計画21」に掲げる最大の目標であること、そして、地方分権、地域主権のまちづくりを目指すために、「町」よりも権能の範囲が大きい「市」となることが最適であると考えるからです。

市になると、福祉事務所が設置され、生活保護や老人福祉などの福祉事務について直接実施する権限が県から移譲されることになります。なお、市制施行によって税金が増えるということはありません。

市制施行期日については、平成23年11月以降にないと考えています。市制を施行する日は歴史的な日となるため、住民の皆さんや議会のご意見を十分に聞いて、決定していきたいと考えています。

住民からの「意見」「質問の回答

新市の名称について「野々市市」ではなく、「ののいち市」が適当ではないかとのご意見をいただきました。野々市の文化、伝統と地名の継続性といった観点から、自治体名としては、漢字表記の「野々市」という地名を使い続けることが、この地域の発展に結びつくものと考えています。

市制施行に伴う支出予算はどのくらいなのかというご質問をいただきました。現在の経済情勢を鑑み、極力少ない負担で行いたいと考えています。

市制施行に伴い警察署を設置しないのかとのご意見をいただきました。県では、野々市警察署を設置することは、現段階では困難とのことでした。現在の二つの交番に加えて、北部地区に新たな交番を設置することを強く要望したいと考えています。

10月1日 国勢調査を実施します。

調査へのご回答、よろしくお願いします。

- ・国勢調査は、平成22年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人および世帯が対象です。
- ・調査結果は、さまざまな法令に基づいて使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちのより良い生活のために役立てられます。
- ・9月下旬に、総務大臣から任命された調査員が、皆さんの自宅へ調査票の配布に伺います。



センサスくん

総務省統計局・石川県・野々市町

国勢調査 e-ガイド

検索

子ども生き生きプラン実施状況



町では、平成 17 年 3 月に「次世代育成支援対策推進法」に基づき、「子ども生き生きプラン・2005」（5 年計画）を策定し、前期計画の各事業を進めてきました。

今年度は後期行動計画として、今までの 5 年間の実績とアンケート調査の結果をふまえ、町民の皆さんのニーズと行政のすべき事業の検証を行い「子ども生き生きプラン・2010」を策定しました。

核家族化が増加し、子育てに不安や悩みを持つ親が増える中、「子どもを育てたい、育ててよかったまちのいち」の基本理念のもと、このプランの充実を図ります。

●平成 21 年度の主な実績●

- 1 ファミリー・サポート・センター事業**
 保育園への送迎や一時的な子どもの預かりなど、子育ての援助を受けたい人（依頼会員）へ、援助を行いたい人（協力会員）を紹介する。会員は登録制で協力会員は講習を受ける。

援助を行いたい人	27 人
援助を受けたい人	110 人
活動件数	357 件
- 2 マイ保育園登録制度**
 町内の身近な保育園や支援センター菅原で、妊娠中から出産後の育児不安を解消するために、育児体験や育児相談、一時保育を受けることができる「マイ保育園登録制度」を推進している。

登録人数	394 人
一時保育利用件数	689 件
- 3 児童手当の支給**
 小学校修了前の子どもを養育している人で、前年の収入が一定の額未満の人に手当を支給。

11,086 件	448,160 千円
----------	------------
- 4 こども医療費の助成**
 0 歳～中学校 3 年生までの入通院の医療費が 1,000 円を超えた分を助成。

30,316 件	90,811 千円
----------	-----------
- 5 ひとり親家庭等医療費助成**
 ひとり親家庭の児童と父母の医療費を助成。

3,613 件	13,605 千円
---------	-----------
- 6 ひとり親家庭児童の放課後児童クラブ保育料の助成**
 ひとり親家庭の児童クラブに通う児童一人 3,000 円を助成。

55 世帯	1,767 千円
-------	----------
- 7 放課後児童クラブの充実**
 保護者が労働などにより昼間家庭にいないおむね 10 歳未満（1 年生～3 年生）児童に対し、授業の終了後に放課後児童クラブを利用して適切な遊びと生活の場を設ける。

8 児童クラブ	455 人
	48,804 千円
- 8 不妊治療費の助成**
 不妊に悩む夫婦に対し、高額な医療費がかかる配偶者間の不妊治療に要する費用を助成。

一般 21 件、特定（体外受精）27 件	2,117 千円
----------------------	----------
- 9 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）**
 子育て中の親が病気になったときや、出産、家族の介護など非常時に子どもを見てくれる人がいなくて困るとき、短期間（7 日以内）の宿泊を含めて子どもを預かる。

利用日数 26 日	207 千円
-----------	--------
- 10 子育て短期支援事業（トワイライト事業）**
 子育て中の家庭で仕事などが常に夜間に及ぶ場合に 6 カ月程度まで毎日子どもを預かる。

利用なし	
------	--



バドミントン

大会日程

6月6日(日)、12日(土)、13日(日)

- 総合開会式
- 町内を歩く「さわやかウオーク」
- スポーツを楽しむ「体験種目」6種
- 日ごろのトレーニングの成果を発揮する「競技種目」13種



サッカー体験



総合開会式

「いつでも」「どこでも」「だれとでも」 さわやか 2010 スポーツフェスティバル

町内13会場で、のべ2,189人が参加したスポーツの祭典。あちこちで熱気のこもった試合が行われ、町は歓声に包まれる。こぼれる汗と笑顔が、まちに活力をもたらす。



陸上競技体験



トランポリン競技



ミニバスケットボール（女子）



学童サッカー



水泳



さわやかウオーク



武術太極拳



ソフトボール



体力・運動能力調査



トランポリン体験



学童野球



大会結果は、次のとおりです（敬称略）。
水泳競技は一位のみ掲載。

■水泳個人競技（男子）

小学1年 ▽25M自由形 吉田尚史 ▽

25M背泳、平泳 水上尚也 小学2年

▽25M自由形、100M個人メドレー

宮嶋泰良 ▽25M背泳 杉山真啓 ▽

25M平泳 浦大希 小学3年 ▽50M自

由形、背泳、100M個人メドレー 松

村幸哉 ▽50Mバタフライ 森下優 ▽

50M平泳 小田原康祐 小学4年 ▽50

M自由形、背泳（大会新） 泉大雅 ▽

100M個人メドレー、50Mバタフライ

窪田聖 ▽50M平泳 山口哲世 小学5

年 ▽50M自由形、バタフライ、鶴野翔

太 ▽50M背泳 山城寿哉 ▽100M

個人メドレー 渡辺凌太 ▽50M平泳

楠昂祥 小学6年 ▽50M自由形、バタ

フライ 池村僚矢 ▽50M背泳 阿部海

舟 ▽100M個人メドレー 刈本大洋

▽50M平泳 梶由真 高中生 ▽50M

自由形、バタフライ（大会新） 内田大

貴 ▽50M背泳、100M個人メドレー

（大会新） 刈本天斗 ▽50M平泳 刈

本彪太 一般（29歳以下） ▽50M自由

形 川嶋辰彦 ▽50M背泳、バタフライ、

100M個人メドレー（大会新） 池谷

公土郎 ▽50M平泳 新木芳和 一般

（30〜49歳） ▽25M自由形 北村大河

▽100M個人メドレー 山根敏秀 ▽

25Mバタフライ 山本知尚 一般（50歳

以上） ▽25M自由形、バタフライ（大

会新） 田渡定夫 ▽25M背泳 北川和夫

▽100M個人メドレー 中村武夫 ▽

25M平泳 田丸喜博

25M水泳リレー（男子）

小学生 ▽200Mメドレー、フリー

V10ののいち 高中生 ▽200Mメド

レー、フリー 布水中3年A 一般 ▽

200Mメドレー、フリー 金沢工大A

■水泳個人競技（女子）

小学1年 ▽25M自由形、平泳（大会

新）、100M個人メドレー 長島汐里

▽25M背泳 工藤萌花 ▽25Mバタフ

ライ 水上妃奈 小学2年 ▽25M自由

形、バタフライ 久保綾乃 ▽25M背泳、

100M個人メドレー 百成佳歩 ▽25

M平泳岡谷葉優 小学3年 ▽50M自由

形、背泳、100M個人メドレー 大野

美穂 小学4年 ▽50M自由形、平泳、

100M個人メドレー 竹田結海 ▽50

M背泳 炭谷杏 小学5年 ▽50M自由

形（大会新）、背泳（大会新）、100M

個人メドレー（大会新） 長島知里 ▽

50Mバタフライ 炭谷真輝 ▽50M平泳

村野有彩 小学6年 ▽50M自由形、平

泳 国分悠里 ▽50M背泳、バタフラ

イ 橋野菜々花 ▽100M個人メド

レー 窪田愛 高中生 ▽50M自由形、

100M個人メドレー 山本恵 ▽50M

背泳 石田七海 ▽50Mバタフライ 山

田真梨 一般（29歳以下） ▽50M自由



テニス



グラウンドゴルフ



ニュースポーツ体験



弓道

- 形、バタフライ 的場一美 ▼50M背泳
出島智子 ▼50M平泳 屋敷美鶴 一般
(30~49歳) ▼25M自由形、バタフライ
西村仁美 ▼25M背泳、100M個人メ
ドレー 板垣聖美 ▼25M平泳 久本和
絵 一般 (50歳以上) ▼25M自由形(大
会新) 出島智子 ▼25M背泳 田中陽子
▼100M個人メドレー(大会新) 神
谷昭子 ▼25Mバタフライ 西村利子
▼25M平泳神田弥生
- 水泳リレー(女子)
小学生 ▼200Mメドレー、フリー
金沢SC三十刈A 一般 ▼100Mフ
リー 泳(こう会)
- バドミントン ①野々市②館野③菅原
- グラウンドゴルフ
男子 ①安嶋一夫②田貝寿那夫③上森茂
女子 ①岩崎千穂子②東野ノブ子③三戸
三千代
- 学童野球 ①富陽②館野
- 武術太極拳 初級太極拳 ①陸恵美②
天内喜子③濱田京子 24式太極拳 ①竹
内誠 ②林幸子 ③石原誠志朗
- ソフトボール ①粟田②野々市シニア
③稲荷、位川B
- テニス ①OK05②セントラル③ノー
フレンズそして婚活中
- 弓道
- 【男子】一般 ①林政成②切道優太郎③
小坂優介 会員 ①谷内正博②黒川正道
③戸田正二 【女子】一般 ①岡崎幸②
- 天野愛理③直江美峰 会員 ①川越恭子
②鈴木玲子③疋島佐知子
- 学童サッカー U-12 ①菅原②野々
市③富陽 U-11 ①5年B②5年A③
椿 U-10 ①4年A②4年B③4年C
U-9 ①3年B②3年A③3年C U
-8 ①キッズC②キッズB③キッズA
- 学童ミニバスケットボール
- 男子 ①野々市②館野③菅原
- 女子 ①御園②野々市③館野
- トランポリン
- シンクロ ①桶作花凜・中井翠 ②北本
妃・川村夏澄③伊勢雄大・勘島遙、高田
優也・勘島碧 シャトル ▼小学低学年
①桶作花凜②長尾晃佑③大本瑞喜、数井
紗良 ▼小学高学年 ①桶作歩乃花②山
口兼宗③末井瑛大、松田涼香 ▼中学生
以上 ①川村夏澄②勘島碧③小西利佳、
勘島遙 オープン ①松本愛花②道井侑
里③北嶋壮汰、浜口日菜
- ゴルフ
- 団体 ①本町5丁目②粟田B③位川 個
人 ①泉長秀②末松陽一③戸上有二
- ボウリング
- 団体 ①粟田②稲荷B③新庄 個人 ▼
男子 ①中村亜樹②津田吉哲③岡本良一
▼女子 ①田村富子②番作恵美子③岡里
美 ▼高校生 ①木川雄平

町に響き渡る三味線や笛の音。その囃子に合わせ、2重にも3重にもできる「野々市じよんから踊り」の輪。夏の盛りを知らせる「野々市じよんからまつり」が今年も7月31日(土)、8月1日(日)に開かれる。まつりをより一層楽しむためにも、*『野々市よもやま話』の編纂委員長魚野孝次郎さんにじよんからの歴史を伺った。

※平成17年に野々市公民館が発行した、本町地区の行事や伝承を古老から聞き取りまとめた本

野々市じよんから

富樫の治世を唄う

時を超え

民衆が受け継ぐ歌と踊り

じよんからの起源や由来については諸説あるが、平安中期から9月16日の富樫郷住吉神社の祭礼で踊っていた御贄踊り(神楽舞)が転じたものという説が注目されている。富樫郷住吉神社は、7代富樫家国(いよく)が加賀の国府を野々市に移したときに造営したもので、じよんから踊りは富樫氏が生んだようなものだ。

歌詞は、「和尚をとし」「歓喜嘆」「よされ音頭」などが歌われていたが、現在は富樫の治世を唄う「富樫略史音頭」が使われている。

遙か昔から、野々市の人たちに愛されてきたじよんから。しかし、明治25年に風紀を乱すとして中止になった歴史がある。それを復活させたのが、郷土史家の木村素堂氏だ。大正末期から盆踊り復活運動を行い「富樫略史音頭」を作詞。昭和27年

当時の文部省の選定無形文化財になつたうえ、昭和42年には町指定民俗文化財となった。昭和初期まで編み笠を被って踊るスタイルが定番で、編み笠の上に小さな旗を立て、紙で作った赤や白のボタンの花をつけ、小さな鈴を下げた姿も見られた。このような形で毎年盆に行われていた「野々市じよんから踊り大会」と商工会主催の「野々市まつり」とを合わせ、昭和57年から当時の役場周辺で開催するようになった。まつりの規模が大きくなったことから、平成2年に現在の文化会館フォルテ周辺へと会場を移し、今のまつりが行われるようになった。

歌詞を読みとく

富樫の治世を称えて

作詞した木村氏が「じよんからの歌詞は、野々市の歴史を端的に示している」と述べるほど、富樫氏が野々市に及ぼした影響は大きい。歌

詞に見えるように、987年に第66代一条天皇の勅命を受け、4代富樫忠頼(ただより)が加賀国に入った。7代家国が野々市に館を築いた以後、布市神社の基となる富樫郷住吉神社や白山神社、大乘寺を建立し、宗教都市として発展させた。そんな富樫氏を慕い、多くの名僧が集まつてきたという。また、「勸進帳」として有名な源義経の安宅の関所越えでは、弁慶の嘘を見破りながらも、その心情を思い、騙された振りをする関守・富樫泰家(やすいえ)の武士魂を称えている。

富樫略史音頭

未熟ながらも拍手をとりて うたいまするは富樫の略史
声はもとより文句もまずい、まずいところを、用捨あれば
踊りましようぞ夜明けるまでも、今を去ること千年以前
時の帝は一条天皇 雪に埋れてひらけぬ越路
加賀の司に富樫よ行けと 勅談かしこみ都を後に
下り来りて野々市町の 地理を選びて館を築き
神社仏閣造営いたし 民を愛して仁政布けは
名僧智識は四方より集い、是ら智知識に道をば聞きて

富樫氏 (写真は富樫家国像)

平安時代後期から藤原利仁を祖とする富樫氏は、加賀国を代表とする在庁官人で、建武2年(1339年)の富樫高家以降加賀の守護職を歴任し、白山大道と北陸道の交差する交通の要所であった野々市に守護所を築いた。長享2年(1488年)の一向一揆後も名目上、守護の地位にあったが、天正8年(1580年)一揆方の拠点であった野々市は、柴田勝家の兵火に焼かれ、富樫氏の時代は幕を下ろした。インターネット町民塾(インターネットで講義の動画を見ることができるサイト)(<http://www.e-camellia.jp/modules/tinyd6/>)でも、富樫氏や中世野々市の詳しい解説をしています。

下は和らぎ様しよくを励み 上を敬い富樫を慕い
代々の司に奏上いたし 勅許ありたる良官なれば
一の谷やら鶴越と 屋嶋海戦大功樹で、
兄を名譽の將軍職に 援け上たる義経公が
落ちて来りて安宅の関所 家来弁慶読み上げまする
音に名高き勸進帳に 同情いたして涙で落す
実にもすぐれし名將智主と 後の世までも歌舞音曲に
残る徳こそ白峰と高く 麓流る、手取の水と
共に幾千代名は芳ばしく 唄い、まするは富樫の略史

じよんから KIDS



野々市じよんから節の継承をとおして、伝統文化に親しむジュニアサークル。歌、三味線、しの笛、太鼓と囃子方の全てを町内の小3～中3のメンバーでこなす。じよんから節保存会員が講師を務める週一回の練習で技術を磨き、じよんからまつりや芸能民謡祭、椿まつりオリジナルステージなどで発表している。



じよんから KIDS
大崎 寛晃さん(布水中1年)

KIDSに入ったきっかけは、小4のとき、おばあちゃんに連れられて、練習を見たことです。最初は三味線をやっていましたが、歌に転向してからますますおもしろくなりました。

じよんからは小さいころから何気なく聞いていた音楽。それを自分が演奏したり、歌ったりできるのは、不思議な感じです。歌詞では「踊りましようぞ夜明けるまでも今を去ること千年以前」が好きです。野々市の歴史の深さを感じるからです。

KIDSは剣道部と両立して、卒業まで続けたいです。男のメンバーが少ないのもっと増えたらうれしいです。



現在、メンバー募集中。詳しくは今月号のお知らせ版9ページをご覧ください。



大正期の踊り流し

じよんから節保存会

今年が発足50周年

じよんからまつりの総踊りで輪の中心となっているのが、「野々市じよんから節保存会」のメンバーだ。

現在の4地区には、それぞれ地域のじよんからがあったが、昭和35年に旧町のじよんからを母体として、保存会を発足。当時は、青年団を卒業して、保存会に入る人が多かったそう。久保昇会長もその一人で、「青年団で現役のころ、じよんから踊りで全国青年祭に出場したことがある。県代表の誇りが今の原動力」と語る。入会当初は、民謡の好きな人が集まるサークル程度の気持ちだったが、50年の歳月で町をあげての踊りとなり、継承の責任の重さを感じるようになった。現在は、じよんからKIDSの指導をはじめ、町内保育園、小学校でも踊りを教え、後継者の育成に力を入れている。久保会長は、「じよんからは、富樫の時代

から千年も踊り継がれてきた野々市の文化遺産。踊りのなかにロマンを感じてほしい。そうすると、踊るのが楽しくなる」と、じよんからの魅力を伝える。まつり当日は、「とにかく輪に入って、一度踊ってみてほしい」と呼びかける。人も町も巻き込んだ、大きな和になるだろう、と。

地域に伝わるじよんから

御経塚と富奥

じよんからまつりに出演する2つの保存会を紹介する。

●御経塚じよんから保存会

御経塚に伝わるじよんからは、くると回る激しい振り付けが特徴だ。塚本省司会長は、歌詞の中でも「二十と八日お日柄なれば 今日ゆるりとお茶のみ話」の一節が気に入っている。「昔は『やしこ』と呼ばれる、村全体で農作業を休む日があった。そんな日は、村中のもんが囲炉裏を囲んで、しゃべり明かした。そんな雰囲気蘇るようだ」と語る。

明治から御経塚の盆踊りで盛大に踊られていたが、戦争中に一旦途切れた。戦後しばらくして復活するも、担い手の不足で、途絶えること約40年。平成13年に保存会を発足し、現在、会員は32人。現在、まつり本番に向けて練習の真つ最中だ。

●上林・郷土民謡保存会

富奥じよんから節は、富奥の四季や先人たちの教えなどが歌詞になっている。伝統の歌詞のほかに、近年できた新作もある。

戦後、旧盆の時期に行われる招魂祭しょうこんの晩に盆踊りとして始まった富奥じよんから。招魂祭は現在も続いているが、盆踊りは昭和40年ごろに途絶えた。一時期復活したが、青年団の人員不足で行われなくなった。20人ほどの保存会の会員は上林とその近隣の住民ばかり。中村三朗事務局長は「富奥全体で継承していく必要がある。いずれは、他の町会を含めた『富奥じよんから保存会』をつくりたい」と将来を見据える。

議会活動

■5月

- 17日 市制特別委員会
- 18～19日 全国町村議会議長・副議長研修会
- 18～20日 教育福祉常任委員会行政視察
- 20日 総務常任委員会
- 24日 産業建設常任委員会
- 25日 教育福祉常任委員会
- 26日 県町村議会議長会議員年金制度問題講習会

■6月

- 7日 全員協議会
- 9日 意見書等調整会議
- 11日 議会運営委員会
- 11日 第2回（6月）町議会定例会開会
- 14日 議会運営委員会

町感謝状

- ◆岡田 昇氏
 - ◆進村 五月氏
- 町生活安全審議会委員として多年にわたり務められた。

ご寄付

- ふるさと納税へ
- ▽浦島百合子様（兵庫県西宮市）
80万円

入札結果

1千万円以上（税込み）
5月入札分

- 本町通りくらしのみちゾーン整備事業 道路改良工事 第3工区
- 予定価格 1,071万円
- 落札価格 1,018万5千円
- 落札者 (株)河合組
- 野々市町北西部土地区画整理事業 野々市駅通り線街路築造工事 第9工区
- 予定価格 1,134万円
- 落札価格 1,071万円
- 落札者 (株)野々市工建
- 町立堀内保育園解体工事
- 予定価格 1,554万円
- 落札価格 1,470万円
- 落札者 北陸研開発(株)
- 野々市町スポーツランドプール棟空調設備改修工事
- 予定価格 1,281万円
- 落札価格 1,176万円
- 落札者 みなみ設備工業(株)
- 野々市町立富陽小学校増築等工事 実施設計業務委託
- 予定価格 2,037万円
- 落札価格 1,963万5千円
- 落札者 (株)山岸建築設計事務所

地元団体とアダプトプログラムの締結

アダプトプログラム（公共施設管理ボランティア支援事業）は、企業や団体が公の場所の里親となり、定期的に美化活動や除雪活動を行う事業です。町はボランティア保険の加入や清掃道具の提供などの支援を行います。参加者の連帯感が向上するほか、住民が身近な人たちのボランティア活動を目にすることで地域への愛着を深めます。町では、平成14年度から事業を始め、7月1日現在16団体345人が参加しています。

- 参加団体（敬称略、順不同）
- ▽アルスコンサルタンツ(株)
 - ▽ナチュラルコンサルタント(株)
 - ▽(株)堀建設
 - ▽陽だまり倶楽部
 - ▽(株)升方工務店
 - ▽稲荷コンコン隊
 - ▽三共技建(株)
 - ▽住吉町青壮年部
 - ▽下林友和会
 - ▽(株)絹川商事
 - ▽(株)北陸銀行 金沢西インター支店
 - ▽野々市工建(株)
 - ▽(有)石原建設工業
 - ▽(株)エイム
 - ▽町グラウンド・ゴルフ協会
 - ▽県立明和特別支援学校

「まちづくり功労者国土交通大臣表彰」を受賞



平成11年から新庁舎周辺で町の新たな拠点づくりを進めてきた野々市町中南部土地区画整理組合が、6月のまちづくり月間にちなんだ国土交通省の「まちづくり功労者表彰」を受賞しました。

町の人口増加を受け、三納から新庄6丁目辺りを便利で住みやすい環境にしようと、道路や公園を計画的に整備した点や新庁舎をはじめ道路沿いの商業施設群の立地で、にぎわいを創出した点などが評価されました。

きれいな街並みで住みやすい町に

食育推進計画が

始まります

問い合わせ

◆保健センター

☎ 248・3511

最近、ライフスタイルや価値観が多様化し、子どもたちの食生活が乱れ、生活習慣病の増加や食を大切にする気持ちが失われつつあります。

「食べる」ことから学ぶ

当町は子育て世代が多く住んでいます。このことから、乳幼児期からの豊かな食の経験を通し、心身ともに健やかな子どもを育てるために食育推進計画を策定し、この7月から施行します。子どもたちが「食べることを楽しむ」こと、「食べ物を大切にすること」、「食を通して自分の体を大切にすること」を目的とし、各課題に合わせた取り組みを行います。

朝食から見える課題

町は県と比較すると、どの年代においても、朝食を抜く率が4〜10%ほど高いのが現状です。大人と子どもで比較すると大人の方が高く、子どもだけで朝食を摂っている家庭もあると考えられます。

さらに、乳幼児健診やプレパパマクラス（妊婦を対象とした教室）参加者の朝食内容を見ると、野菜を摂っていない人の割合が約7割見受けられ、生活習慣、食習慣に問題のある人が多いと予測されます。生活習慣病と食習慣の間には密接な関係があり、実際に町の主要死因に占める生活習慣病の割合は約6割を超えています。

この現状から、子どもの「孤食」と将来的な生活習慣病が課題であるといえます。

園児の手づくり朝食

町では、これらの課題解決のために食育事業を進めています。その一環として昨年6月に御経塚保育園で行った調理実習では、じゃがいもの味噌汁、きゅうりの漬け物、ハムエッグ、おにぎりという朝食にぴったりの献立を作りました。

材料のきゅうりは園庭の畑で作りました。ハムエッグの卵は子どもたちが頑張って割りました。中には、包丁の使い方や卵の割り方を練習して当日に臨む園児もいて、実習にとっても積極的でした。

ほかにも、精米体験や農家の人から作物の話の聞いたりしました。



計画の遂行には、保護者をはじめ地域の皆さんのご協力が不可欠です。ご理解とご協力をお願いします。詳しい計画の内容は、町ホームページ (<http://www.town.nonichi.lg.jp/>) をご覧ください。

カメラあちこち

まちの話題、あんなこと、こんなこと。



県立大発ののいち魅力発見ツアー

第1回ののいち「里まち」見て歩き

5月30日(日)の午前中、町で初のボランティアガイドの設立を目指す「ののいち『里まち』ガイド設立研究会」と県立大学学生サークル「ののいち探検隊@里まちガイド」のメンバーが主催するまち歩き事業に、学生7人を含む14人が参加して、県立大学周辺約6kmを歩きました。

会では、町内には自然と人が共生する「里まち」の風景がたくさんあり、そこで生きる人や育んできた歴史文化、産業を訪ねていきたいとのこと。県外出身の学生は「屋根の雪止めが珍しい」と、好奇心を寄せていました。

やさしい心は花育てから

「人権の花」運動

5月29日(土)、町の人権擁護委員6人が御園小学校を訪れ、インパチェンス、千日紅などの花苗200鉢を、同校児童に手渡しました。

この運動は、2年前からこの時期に取り組まれています。委員の中川保夫さんは「人も花も手入れをすれば大きくなる。草花を育てることによって、人を大切にすることを学ばせたい」と挨拶。この日は同校の花いっぱい運動も合わせて行われ、参加した約100人の児童と保護者は、ていねいに花苗をプランターに植え替え、学校周辺の歩道に並べました。



虫歯になんかならないもん!

歯の健康フェスタ

6月6日(日)、保健センターを会場に「歯の健康フェスタ」が開催されました。これは口の中に関する正しい知識を身に付け、歯の健康意識を高めることがねらいです。今回、約380人が参加し、なかでも乳幼児をつれた親の姿が多くみられました。

慣れない歯みがきに戸惑う子どもが多く、泣きじゃくる子や口を開けたくないと嫌がる子もいましたが、歯科医師や歯科衛生士からやさしい言葉をかけられ、最後には大きな口を開け検診を受けていました。親は、わが子のために「虫歯予防」や「正しい歯のみがき方」のアドバイスを真剣に聞いていました。



心のふれあいを大切に

ふれあいときわまつり

6月12日(出)、中林4丁目の地域社会復帰施設ときわで、「ふれあいときわまつり」が開かれました。会場では、フリーマーケットや模擬店、花の苗販売などが並び、野菜販売所では、野々市明倫高校のボランティア部などの生徒が、元気な声で客寄せをしていました。

地域社会復帰施設ときわでは、町の委託事業として、こころの病を抱えた人の相談支援と地域活動支援をしています。このまつりのほかに、施設利用者による喫茶活動「ランチりー」や、クラブ活動などさまざまな活動を行っています。



横断歩道は青になったら渡ろう

幼児交通安全教室

5月から町内各保育園で、交通安全教室が開かれています。このうち6月2日(水)には、ほりうち保育園で約70人が交通ルールとマナーを学びました。

松任警察署員2人が、チャイルドシートとシートベルトの重要性を、パネルシアターで解説。その後、模擬信号機と横断歩道を使って、横断歩道の正しい渡り方を練習しました。「一回止まって、右を見て、左を見て、もう一度右を見て、手を挙げて渡りましょう」と教えてもらうと、園児たちは元気よく実践していました。

庁舎の屋根をスクリーンにして解説

春の星空観望会

5月22日(出)役場横のあらみや公園で観望会が開かれました。会場には、約300人が集まり、設置された望遠鏡・双眼鏡ののぞき方を、金沢星の会メンバーから教わりました。天候は、あいにく雲が立ち込め、月のぼんやりとした輪郭が確認できるだけでした。

雲の切れ間を待つあいだ、天体シミュレーションの映像などを役場ブリッジ横屋根へ投影して、屋外プラネタリウムや、天文クイズ大会を行いました。ブリッジ横屋根への投影は初の試みでしたが、好評だったようです。



町内会館は地域のサロン

押越町内会老人会の活動拝見



この老人会では、月に1回は集まる機会をつくり、勉強会、グラウンドゴルフ、小旅行などをしています。地崎さんは「この町内でも一人暮らしの高齢者が増え、皆で助け合っていくために、こうした場でお互いのことを知り合うことが大切。今日のように特技を生かした企画のほかに、ここでサークルもつくりたい」と語っていました。

5月13日(休)押越町内会老人会会長の地崎さんから「押越コミュニティセンターに来てみませんか」と、突然のお誘い。行ってみると、集会室に30人以上の年配者が集り、認知症サポーター養成講座の真っ最中。これが終わると会場はお茶会の席に。床の間や縁には季節の花がいくつも飾られ、奥の台所から抹茶が手際よく運ばれてきました。お茶とお菓子をいただきながら、参加者同士の会話が弾んでいました。

カメラあちこち特別版

かがやくひとみ

まっちゃんがきた！

つばき保育園

5月28日(金)に、全国の保育園や児童館などで、楽しい歌や遊びを届けている町田浩志さん(通称まっちゃん)がつばき保育園に来てくれました。

つばきっことはまっちゃんの歌や遊びが大好きで、いつもあちこちから、まっちゃんの曲が聞こえてきます。ずっと、まっちゃんに会えるのを、心待ちにしていたので、「まっちゃんのところに早く行きたい」という気持ちで、とても落ち着かない様子でした。そしてまっちゃんの顔を見るなり、「まっちゃん」とうれしそうに声をかけていましたよ。

第1部は3歳未満児親子、第2部は3歳以上児に分かれて遊び、それぞれ1時間という時間があつという間に過ぎていきました。

まっちゃんのギターによる弾き語りやトークに自然とひきつけられ、親子はもちろん、普段話したことのない人たちの心ときほぐし、つなげ、だんだんと輪が広がっていく、人と人がつながっていく楽しさを味わいました。

たくさんのお遊びやうたを届けてくれたまっちゃんとのひとは「ひとりじゃないんだよ」という素敵なメッセージとともに、みんなの心にほんわかと温かく残りました。

「まっちゃん、笑顔をありがとう。」



『もしも』の時の安心と信頼

会員募集 会 員 募 集 中
フューネラル倶楽部
JAのいちコスモスの会

JA指定ホール
フューネラルホール 天祥閣
野々市町矢作2丁目111番地 電話(076)294-4141

フリーダイヤル
0120-800-448
URL http://www.tensyoukaku.co.jp

スピード 給付の 県民共済

こども型 総合保障型
熟年型 新型火災共済

お問い合わせと資料のご請求は

☎0120-63-5011

☎076(263)5011(代) ☎076(263)5107

共済取扱団体/石川県認可 石川県民共済生活協同組合

〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F

●ホームページからはこちら ●携帯電話からはこちら
石川県民共済 検索

広告募集中

(1号5.6cm四方)

掲載料は月額2万円。6カ月連続掲載で10万円(1カ月分無料)
※税込み、版下原稿作成費用は含まない

問い合わせ 広報情報課広報広聴担当 (☎227-6056)

広告欄



パティシエールになりたい

吉村 楓さん
野々市小学校6年

わたしの夢

ぼくの夢



スイミング選手になりたい

阿部 海舟くん
御園小学校6年

オススメの本

● 今月のおはなし会

とき 7月10日(土)、24日(土)

11:00から

ところ 児童図書コーナー

楽しい絵本や紙芝居の読み聞かせです。誰でも自由に参加できます。

● 子ども向け

『たんぽのあまがえる』

武田 普一 / 写真 世界文化社



たんぽにイネが育つのと同時に、すくすく成長していくアマガエルの赤ちゃん。

オタマジャクシから一人前のカエルに変化する様子を1年を通して観察します。

● 今月の展示図書

テーマ 『戦争を考える』

※期間中の展示図書の貸し出しはできませんので、予約をお願いします

● 大人向け

『おいしく食べて高血圧を下げるバランスレシピ』

検見崎聡美 / 著 永岡書店



健康的だけど物足りない食事、そんなのはもう古い。高血圧を改善する料理の基本は、新鮮な食材をうす味で調理すること。

体に良くて、しかもおいしいおかずやデザートを紹介。

町立図書館

野々市町本町 2-14-6 (☎ 248-8099)

開館時間 10:00 ~ 19:00

(土日は 17:00 まで)

休館日 毎週月・祝日

図書館お役立ち情報：著作権法にのっとり、図書館の資料を館内でコピーすることができます。(1部 10円、セルフコピー不可)

2010年《夏》全世界待望スタジオジブリ最新作

人間に見られてはいけない。

借りぐらしのアリエッティ

志田未来 神木隆之介 大竹しのぶ 竹下景子 藤原竜也 三浦友和 樹木希林

企画・脚本●宮崎 駿 原作●メアリー・ノードン「床下の小人たち」(林 容吉訳・岩波少年文庫刊) 脚本●丹羽圭子
監督●米林宏昌 音楽・主題歌●セシル・コルベル「Arrietty's Song」(マキシム・ムロムロフ編曲)

© 2010 GNDHDTW 2010年7月17日(土)よりワーナーマイカル御経塚他全国東宝系にてロードショー!

平成22年度 町俳句協会総会

6月1日(火)、湯湧温泉周辺を訪ね、総会を兼ねて句会が開かれました。当日の秀句抄をご紹介します。

■会長杯、西田さい雪先生特選

恋多き夢二の碑文木下閣

瀬戸 初枝

老鶯や山湖に映る氷室小屋

橋本当志子

お葉師へ続く階著莪の花

山田 深雪

山峡の植田守る人点となり

坂井 管子

茅葺きの民家閉ざして四囲若葉

瀬戸 初枝

筒鳥の森影写す玉泉湖

南 邦夫

老鶯や門新の氷室小屋

小林 清

氷室小屋の門かたくすみれ草

勝田 知子

杉襖間を妖しく夏の蝶

古源 和子

苔の花源泉白の注連ゆるむ

古源 和子

足湯して見下ろす通り夏燕

南 邦夫

万緑や湖は沈黙の水湛え

古源 和子

加賀藩の隠し湯の里山若葉

瀬戸 初枝

■奥村誠一路先生特選

夏木立灯明洩るる稻荷堂

小林 清

リレー方式で町民の方々を紹介しています

“いきいき”のいち人 50



子どもたちへ
明るく、元気に

松永 祥子さん／徳用町

【左から】陽生くん、敏さん、悠輔くん

野々市町で暮らしてどうですか？

生まれてから30年以上野々市に住んでいます。最近、大型店舗ができ、道が広がって交通の便がよくなりました。だけど、細い道にも車が増えたことで心配も増えました。

広報についてのご意見は？

細かく見てないですが子育て関係のページを主に読んだりします。でも広報は旦那の方がよく読むかな。

自分の性格を一言であらわすと？

ん〜…おおざっぱなところかな…。

趣味はなんですか？

韓流ドラマを見ることです。あとは、子どもと一緒に公園で遊ぶことです。以前は、野々市中央公園とか白山市の若宮公園に行っていました。今は近くの公園で遊んだり、最近は自転車で一緒に近くを走ったりしています。

目標やチャレンジしてみたいことは？

連休になると夫の実家（愛知県）に行く事が多いので、家族で旅行がしたいですね。子どもが乗り物に興味があるので飛行機にのせてあげたいなと思います。あと、そろそろアウトドアにもチャレンジしたいですね。



おいしいお米を作るぞ!! カメラ親子体験塾 2010

5月23日(日)、雨にもかかわらず、中林の農園「福来園(ふうらいえん)」の水田で、小学生の親子30人が、コシヒカリの苗を泥の感触を楽しみながら手植えました。これは、情報交流館カメラを拠点に活動するボランティアグループ「カメラ・パルの会」が、農作業体験を通じて、食や環境の大切さを考えてもらおうとする体験塾。今年で3年目を迎えました。作業後には、まきで炊いたご飯やとれたての野菜を味わいました。

6月20日(日)には、水田の草取りのほかに県立大学ピオトップ研究会の指導で、水生昆虫の観察を行いました。近年、富奥地区の一部の農家が低農薬、有機肥料を使った農業に取り組み、自然環境が豊かになりつつあることから、カイエビのほかにホタルの幼虫の抜け殻も見つかりました。この後、9月には稲の刈り取り、11月には収穫祭が予定されています。

編集後記

広報担当になり、早三カ月。イベント・行事はもちろん、花や景色を撮る機会も多くありました。普段何気なく見るものを撮る事で次第に興味が変わるようになってきました。変化があると新鮮さを覚えるようになってきました。ことわざに「好きこそものの上手なれ」とあります。少しでも早く自分らしく撮れない写真をとりたいたいものです。(中山)

今月の表紙は、老人会の運動会で見かけた気合ばつちりの老婦人。額には「必勝」の鉢巻がきりり。楽しみつつも、その目には闘志の炎が宿っているように見えました。そんな様子を見ていて、私は本気で勝つつもりで臨んだことって最近あったかな…と情けなくなりました。いくつになっても、挑戦する人は美しいですね。私もこの夏こそは何かチャレンジしたいなあ…。(瀧澤)



ケーブルテレビ9ch
のいちふれあい通信
8:00~ 8:30
18:00~18:30



FM放送 76.3MHz
マイタウンのいち
月~金/ 6:30~ 7:00
11:20~12:00
16:00~17:00

発行 野々市町 (毎月1回発行)
〒921-8510 石川県石川郡野々市町字三納18街区1番
TEL(076)227-6000 (代表)

編集 広報情報課 TEL(076)227-6056 (直通)
ホームページアドレス <http://www.town.nonoichi.lg.jp/>
Eメールアドレス info@town.nonoichi.lg.jp